

[ARTESCA + Veeam
統合ソフトウェアアプリケーション]
導入ガイド

© 2026 Climb

株式会社クライム



作成日: 2026/02/27(金)

更新日: 2026/02/27(金)

バージョン: 1.0

目次

1 はじめに	3
1.1 範囲	3
1.2 対象バージョン	3
2 ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンス	4
2.1 Veeam Backup & Replication v12 のインストール	7
2.1.1 ARTESCA + を本番環境にインストールする	8
2.1.2 Windows 仮想マシンをインストールする	11
2.1.3 Veeam Backup & Replication をインストールする	13
2.2 Veeam Software Appliance v13 のインストール	14
2.2.1 ARTESCA + を本番環境にインストールする	15
2.2.2 Veeam Software Appliance をインストールする	18
2.3 ARTESCA + Veeam インストール後のガイドライン	21
2.4 操作	25
2.4.1 Veeam 情報を ARTESCA UI に統合する.....	26
2.4.2 Veeam 概要メトリクス	28
2.4.3 ARTESCA S3 エンドポイントを外部からアクセス可能にする	31
2.4.4 VNC クライアントを使用して Veeam 仮想マシンに接続する	32
2.4.5 Windows インストールの強化.....	33
2.4.6 アップグレード.....	34
3 更新履歴	35

1 はじめに

本ドキュメントに記載されたイラスト、写真、文章の一部またはすべてを無断で複製、転載することを禁止します。

本ドキュメントは製品を購入されたお客様、評価版をご使用のお客様向けに株式会社クライムが提供しております。

1.1 範囲

本ドキュメントは、[ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアライセンス] の導入手順について記載しております。

1.2 対象バージョン

本ドキュメントは、以下の製品のバージョンに対応しております。

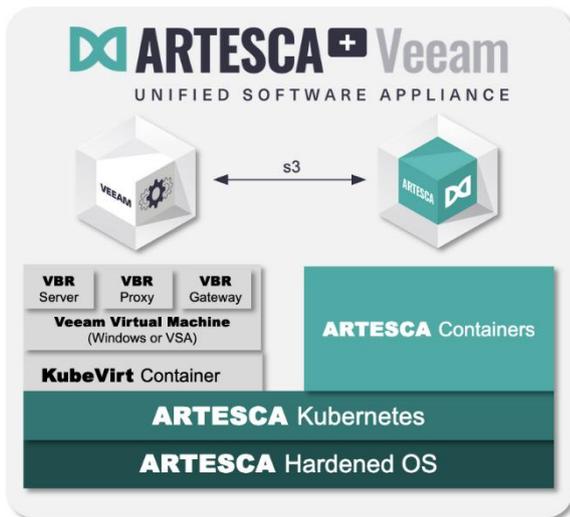
- [ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアライセンス] Ver. 4.1.0

© 2026 Climb Inc.

2 ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンス

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、Scality の強化されたオブジェクトストレージプラットフォーム内で、Veeam Backup & Replication (VBR) バージョン 12 または、Veeam Software Appliance (VSA) バージョン 13 を実行する統合ソフトウェアアプライアンスです。

導入と運用を簡素化し、ゼロトラストセキュリティによるエンドツーエンドのサイバーレジリエンスを実現し、インフラストラクチャコストを削減します。また、任意のハードウェアで実行できる柔軟性も備えています。



ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、Veeam Backup & Replication によって保護できる標準データソースとシームレスに統合されます。

アプライアンスの中核は、強化されたオペレーティングシステム上に構築された統合ソフトウェアスタックであり、安全で安定した基盤を提供します。

さらに、ARTESCA Kubernetes は、データ管理に特化した ARTESCA コンテナのデプロイメントをオーケストレーションおよび管理します。

Veeam サーバー、Veeam プロキシ、Veeam ゲートウェイなどの Veeam コンポーネントは、KubeVirt コンテナによってスケジュールされた Veeam VM 内に展開され、堅牢なバックアップおよびリカバリ機能を活用しながら Kubernetes 環境内で実行できます。

この統合により、Veeam はバックアップとリカバリのプロセスを管理できるようになり、ARTESCA は基盤となるストレージとデータ管理インフラストラクチャを提供します。

注

Veeam v12 のコンテキストでは、Veeam VM は、VBR が展開される Windows 仮想マシンを指します。Veeam v13 のコンテキストでは、Veeam VM は、Linux Veeam Software Appliance を指します。

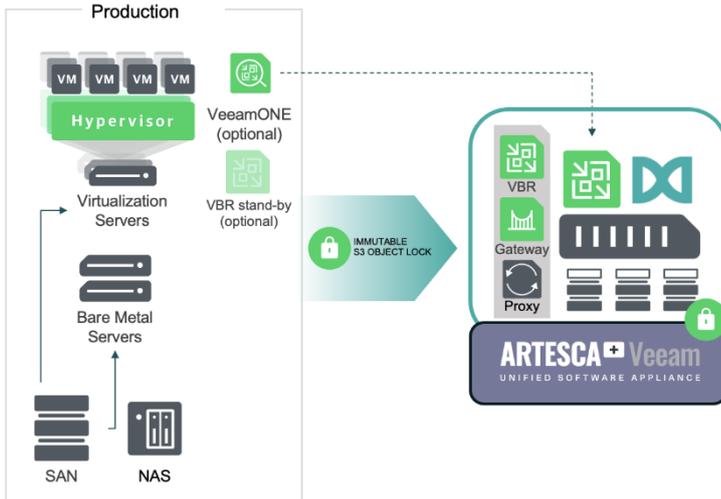
サポートされているアーキテクチャモデル

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、本番環境を保護するプライマリバックアップおよびストレージソリューションとして、あるいは Veeam をスタンバイとしてプライマリから迅速にフェイルオーバーするためのセカンダリリポジトリとして使用できます。

プライマリリポジトリ

このアーキテクチャモデルでは、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスが本番環境を保護し、最初の不変のバックアップコピーを保存します。

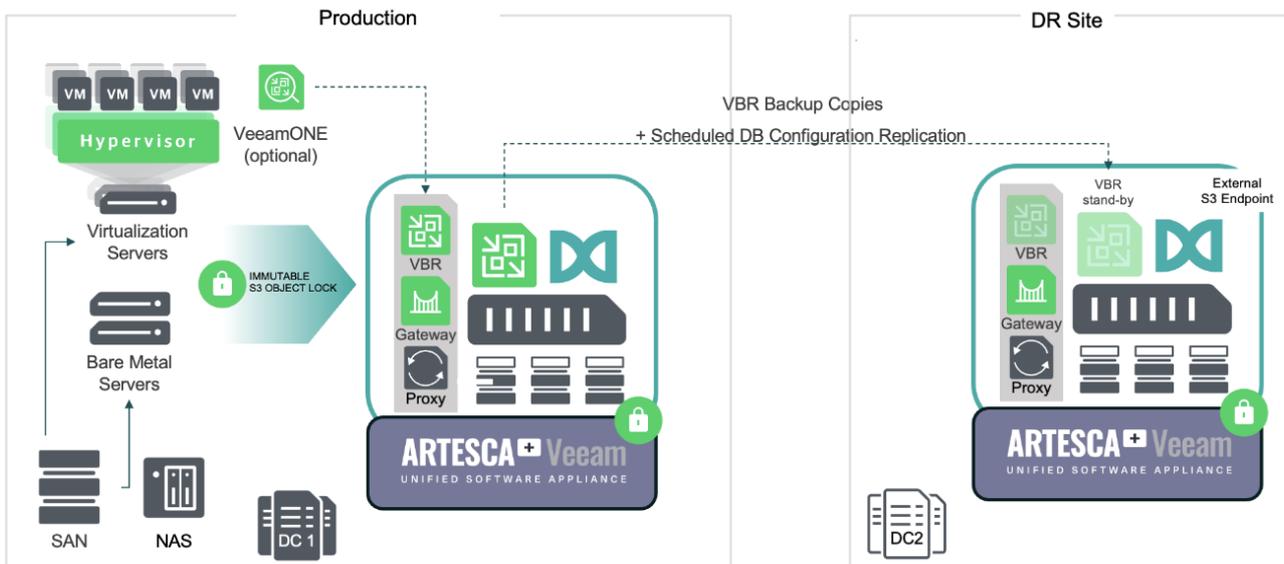
アプライアンスは、外部から ARTESCA S3 エンドポイントにアクセスできないように構成されています。さらに、アプライアンスを使用して、2 番目のバックアップコピーを外部バックアップリポジトリターゲットに転送することも可能です。



セカンダリリポジトリ

このアーキテクチャモデルでは、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスがセカンダリバックアップリポジトリとして使用され、バックアップコピーと Veeam の設定およびデータベースを保存します。

このアプライアンスは、プライマリサイトに災害が発生した場合に備え、Veeam Backup & Replication がプリインストールされ、いつでもアクティベート可能な状態で構成されています。



サポートされている統合モデル

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、外部の Veeam プロキシや Veeam ONE、ま

または Veeam Recovery Orchestrator と統合できます。

インストール

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、Veeam Backup & Replication バージョン 12 と Veeam Software Appliance バージョン 13 の両方をサポートします。

- [Veeam Backup & Replication バージョン 12 のインストール](#)
- [Veeam Software Appliance バージョン 13 のインストール](#)

操作

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの操作は、アプライアンスとそのコンポーネントの管理に役立ちます。

操作

- Veeam 情報を ARTESCA UI に統合する
- Veeam 概要メトリクス
- ARTESCA S3 エンドポイントを外部からアクセス可能にする
- VNC クライアントを使用して Veeam VM に接続する
- Windows インストールの強化
- アップグレード

2.1 Veeam Backup & Replication v12 のインストール

ARTESCA + Veeam Backup & Replication v12 を本番環境にインストールするには、次の手順に従います。

- [ARTESCA + を本番環境にインストールする](#)
- [Windows 仮想マシンをインストールする](#)
- [Veeam Backup & Replication をインストールする](#)

© 2026 Climb Inc.

2.1.1 ARTESCA + を本番環境にインストールする

要件

標準的な ARTESCA Software Appliance の要件を概説したこちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスについては、次の点に注意してください。

- アプライアンスは、1つのノードでのみ動作します。
- サーバー集積度は、4~24個のLFFドライブの範囲で、最大420TBの使用可能なストレージ容量を提供します。
- CPU、RAM、NVMe サービスドライブの要件は、Windows および Veeam のリソース消費を考慮して調整されます。

サーバー集積度	物理 CPU コア数	メモリ	NVMe
4LFF 以下	24	192 GB	Low: 2 x 960GB
12LFF 以下	36	256 GB	Low: 2 x 1.92 TB High: 2 x 3.84 TB
24LFF 以下	51	384 GB	Low: 2 x 3.84 TB High: 2 x 3.84 TB

ネットワークに関する考慮事項

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスを展開する場合、次のネットワーク設定が適用されます。

- コントロールプレーンとワークロードプレーンは、1.1.1.1/32 サブネットに設定されます。
- データネットワークインターフェースは、ブリッジモードで構成されます。
- Veeam VM は、データネットワークで専用の IP を取得します。

詳細については、こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

注

Veeam v12 のコンテキストでは、Veeam VM は、VBR が展開される Windows 仮想マシンを指します。Veeam v13 のコンテキストでは、Veeam VM は、Linux Veeam Software Appliance を指します。

ハードウェアノードの準備

こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

デプロイメント

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの導入は、次の2つの手順で行われます。

1. [ハードウェアノードにオペレーティングシステムをインストールする](#)
2. [オペレーティングシステムの上にソフトウェアコンポーネントをインストールする](#)

ARTESCA オペレーティングシステムのインストール

こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

ARTESCA ソフトウェアコンポーネントのインストール

ARTESCA + Veeam ソフトウェアコンポーネントの展開は、標準の ARTESCA Software Appliance の展開と似ていますが、注意すべき小さな違いがあります。

1. [アーティファクトをダウンロードします。](#)
2. [インストール設定ファイルを生成します。](#)

重要

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの設定ファイルを生成する際は、artесca-installer コマンドの実行時に必ず--enable-artесca-plus フラグを使用してください。

```
sudo ./artесca-installer config generate --output config.yaml --enable-artесca-plus
```

重要

Veeam VM で使用するインターフェースの指定を求められます。複数のインターフェースが利用可能な場合は、データネットワークインターフェースを選択してください。

コンソール出力

Choose the interface to use for VM networking, between the following interfaces, this interface will be used for all Veeam communication (enter the ID or interface name):

```
[1] data-network: 3c:ec:ef:a4:52:80 UP Aliases: enp6s0 IPs: 10.200.4.63/24
[2] management-network: 3c:ec:ef:a4:51:22 UP Aliases: enp3s0 IPs: 10.200.5.63/24
: 1
```

3. [事前チェックを実行し、インストールを実行します。](#)

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスについては、次の点に注意してください。

- ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、Veeam Backup & Replication バージョン 12 と、Veeam Software Appliance バージョン 13 の両方をサポートします。
- KubeVirt 仮想化エンジンは、Veeam VM を実行するために ARTESCA + インストールの一環としてハードウェアノードに導入されます。手動による介入は必要ありません。
- Veeam VM に追加の論理ボリュームがプロビジョニングされます。
- コントロールプレーンとワークロードプレーンは、ハードウェアアプライアンスの場合と同様、アプライアンスの移植性を確保するために、1.1.1.1/32 サブネットに設定されます。
- ベースドメインは、artесca-plus.local に設定されています。

デプロイメントの最後に、データネットワークインターフェースがブリッジモードに再構成され、そのプロセス中にサーバー接続が失われる可能性があることを通知する警告が表示されます。

コンソール出力

```
The ARTESCA installation is complete. The network will be reconfigured to enable having
```

a dedicated IP for the Veeam Virtual Machine.

If you are currently connected through the IP 10.200.4.63/24, you will be disconnected and will need to reconnect to continue the Veeam Virtual Machine deployment.

Press any key to continue...

キーを押して続行し、サーバーに再接続します。

© 2026 Climb Inc.

2.1.2 Windows 仮想マシンをインストールする

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンス は、Windows Server 2022 または Windows Server 2025 に導入できます。

Windows Server 評価版 ISO をダウンロードする

Microsoft の公式ウェブサイトから、[Windows Server 2022](#) または [Windows Server 2025](#) の ISO ファイルをダウンロードし、/home/artesca-os/ ディレクトリに配置してください。

注

Windows VM の自動インストールは、現在のところ Windows Server 評価版 ISO でのみ利用可能です。Windows Server Evaluation をインストールしたら、Windows Server のフルバージョンにアップグレードできます。

Windows 仮想マシンを作成する

次のコマンドは Windows 仮想マシンを作成し、以下の構成を展開します：

- リモートデスクトップクライアントを起動します。
- Virtio ネットワークドライバをインストールします。
- デフォルトの管理者資格情報 (VeeamAdministrator) を作成します。
- s3.artesca-plus.local エンドポイントを解決するために hosts ファイルを更新します。
- ARTESCA ルート CA をインストールします。
- Veeam パーティション (280 GB) をフォーマットします。

Windows Server 2022

```
sudo ./artesca-installer vm create --vm-ip <vm ip> --os-iso <windows iso> veeam windows --windows-version 2k22 --locale <locale>
```

Windows Server 2025

```
sudo ./artesca-installer vm create --vm-ip <vm ip> --os-iso <windows iso> veeam windows --windows-version 2k25 --locale <locale>
```

ヒント

- <windows iso> を、事前にダウンロードした Windows Server ISO ファイルのパスに置き換えてください。
- <vm ip> を、Windows VM に割り当てる IP アドレスに置き換えてください。なお、この IP アドレスはデータネットワーク内にある必要があります。
- <locale> を希望のロケールに置き換えてください。例：米国英語の場合は en-US、日本語の場合は ja-JP など。サポートされているロケールのリストは[こちら](#)でご確認いただけます。ロケールは、Windows Server 評価版 ISO 名の一部である必要があります。

コマンドを実行すると、Windows 仮想マシンの認証情報が表示されます。後で仮想マシンに接続する際

に必要となるため、必ず保存しておいてください。

認証情報の例

State 'artescavm.veeam' succeeded

VM is deployed, you can connect to it using RDP Client with login

VeeamAdministrator and password: cf3206e50dcd4501bc36dcfbf902bd39

© 2026 Climb Inc.

2.1.3 Veeam Backup & Replication をインストールする

Windows 仮想マシンに接続する

リモートデスクトップクライアントを使用して、前の手順で作成した Windows 仮想マシンに接続します。仮想マシン作成コマンドの実行後に表示される資格情報を使用します。

Veeam ISO をダウンロードする

- 仮想マシンがインターネットに接続されている場合は、Windows Web ブラウザーから、Veeam Backup & Replication ISO をダウンロードします。
- 仮想マシンがインターネットに接続されていない場合は、リモートデスクトップクライアントを使用して、Veeam Backup & Replication ISO を Windows 仮想マシンにアップロードします。

Veeam Backup & Replication の導入

[Veeam の公式ドキュメント](#)に従って インストールを完了します。

[ARTESCA + Veeam インストール後のガイドライン](#)に進みます。

2.2 Veeam Software Appliance v13 のインストール

ARTESCA + Veeam Software Appliance バージョン 13 を本番環境にインストールするには、次の手順に従います。

- [ARTESCA + を本番環境にインストールする](#)
- [Veeam Software Appliance をインストールする](#)

© 2026 Climb Inc.

2.2.1 ARTESCA + を本番環境にインストールする

要件

標準的な ARTESCA Software Appliance の要件を概説したこちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスについては、次の点に注意してください。

- アプライアンスは、1つのノードでのみ動作します。
- サーバー集積度は、4~24 個の LFF ドライブの範囲で、最大 420 TB の使用可能なストレージ容量を提供します。
- CPU、RAM、NVMe サービスドライブの要件は、Windows および Veeam のリソース消費を考慮して調整されます。

サーバー集積度	物理 CPU コア数	メモリ	NVMe
4LFF 以下	24	192 GB	Low: 2 x 960GB
12LFF 以下	36	256 GB	Low: 2 x 1.92 TB High: 2 x 3.84 TB
24LFF 以下	51	384 GB	Low: 2 x 3.84 TB High: 2 x 3.84 TB

ネットワークに関する考慮事項

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスを展開する場合、次のネットワーク設定が適用されます。

- コントロールプレーンとワークロードプレーンは、1.1.1.1/32 サブネットに設定されます。
- データネットワークインターフェースは、ブリッジモードで構成されます。
- Veeam VM は、データネットワークで専用の IP を取得します。

詳細については、こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

注

Veeam v12 のコンテキストでは、Veeam VM は、VBR が展開される Windows 仮想マシンを指します。Veeam v13 のコンテキストでは、Veeam VM は、Linux Veeam Software Appliance を指します。

ハードウェアノードの準備

こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

デプロイメント

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの導入は、次の 2 つの手順で行われます。

1. [ハードウェアノードにオペレーティングシステムをインストールする](#)
2. [オペレーティングシステムの上にソフトウェアコンポーネントをインストールする](#)

ARTESCA オペレーティングシステムのインストール

こちらの[ガイドライン](#)を参照してください。

ARTESCA ソフトウェアコンポーネントのインストール

ARTESCA + Veeam ソフトウェアコンポーネントの展開は、標準の ARTESCA Software Appliance の展開と似ていますが、注意すべき小さな違いがあります。

1. [アーティファクトをダウンロードします。](#)
2. [インストール設定ファイルを生成します。](#)

重要

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの設定ファイルを生成する際は、artescas-installer コマンドの実行時に必ず--enable-artesca-plus フラグを使用してください。

```
sudo ./artescas-installer config generate --output config.yaml --enable-artesca-plus
```

重要

Veeam VM で使用するインターフェースの指定を求められます。複数のインターフェースが利用可能な場合は、データネットワークインターフェースを選択してください。

コンソール出力

```
Choose the interface to use for VM networking, between the following interfaces,
this interface will be used for all Veeam communication (enter the ID or interface
name):
```

```
[1] data-network: 3c:ec:ef:a4:52:80 UP Aliases: enp6s0 IPs: 10.200.4.63/24
[2] management-network: 3c:ec:ef:a4:51:22 UP Aliases: enp3s0 IPs: 10.200.5.63/24
: 1
```

3. [事前チェックを実行し、インストールを実行します。](#)

ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスについては、次の点に注意してください。

- ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスは、Veeam Backup & Replication バージョン 12 と、Veeam Software Appliance バージョン 13 の両方をサポートします。
- KubeVirt 仮想化エンジンは、Veeam VM を実行するために、ARTESCA + インストールの一環としてハードウェアノードに導入されます。手動による介入は必要ありません。
- Veeam VM に追加の論理ボリュームがプロビジョニングされます。
- コントロールプレーンとワークロードプレーンは、ハードウェアアプライアンスの場合と同様、アプライアンスの移植性を確保するために、1.1.1.1/32 サブネットに設定されます。
- ベースドメインは、artescas-plus.local に設定されています。

デプロイメントの最後に、データネットワークインターフェースがブリッジモードに再構成され、そのプロセス中にサーバー接続が失われる可能性があることを通知する警告が表示されます。

コンソール出力

```
The ARTESCA installation is complete. The network will be reconfigured to enable having
```

a dedicated IP for the Veeam Virtual Machine.

If you are currently connected through the IP 10.200.4.63/24, you will be disconnected and will need to reconnect to continue the Veeam Virtual Machine deployment.

Press any key to continue...

キーを押して続行し、サーバーに再接続します。

© 2026 Climb Inc.

2.2.2 Veeam Software Appliance をインストールする

Veeam Software Appliance ISO をダウンロードする

[Veeam 公式ウェブサイト](#)から、Veeam ISO ファイルをダウンロードし、/home/artesca-os/ ディレクトリ内へ配置します。

VSA 仮想マシンを作成する

適切なネットワーク設定で Veeam Software Appliance 仮想マシンを作成します。

```
sudo ./artesca-installer vm create --vm-ip <vm ip> --os-iso <veeam iso> veeam vsa
```

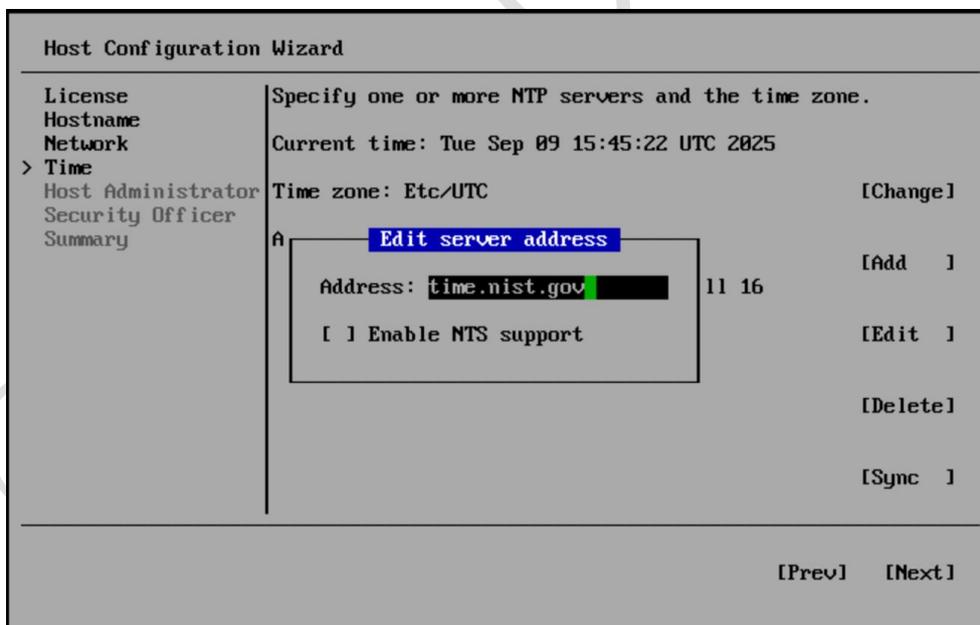
VSA 仮想マシンに接続する

VNC クライアント (RealVNC や TigerVNC など) を使用して、VSA 仮想マシンに接続します。

```
sudo virtctl --kubeconfig /etc/kubernetes/admin.conf vnc vbr --proxy-only -n veeam --address 0.0.0.0 --port 48459
```

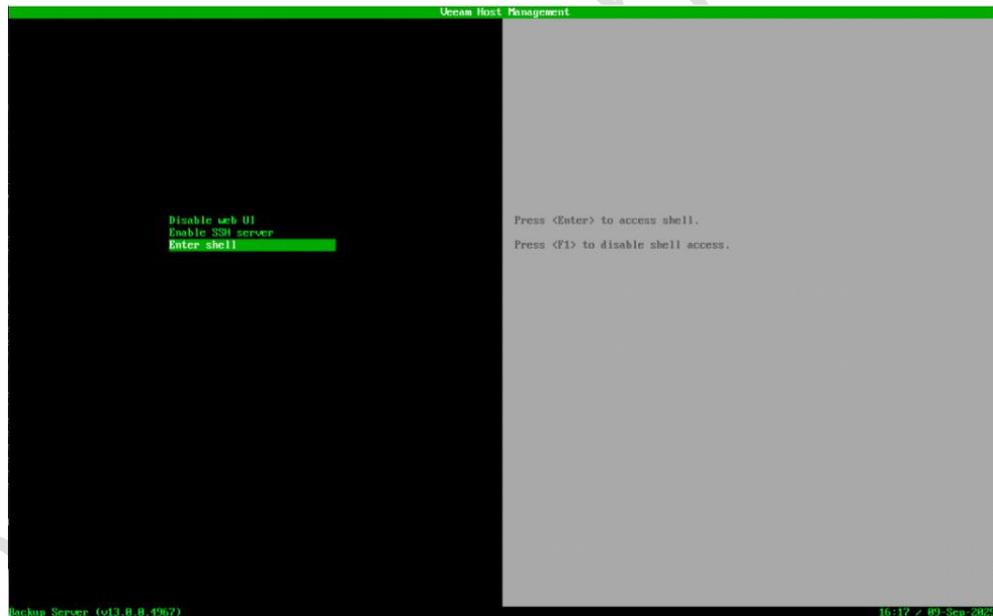
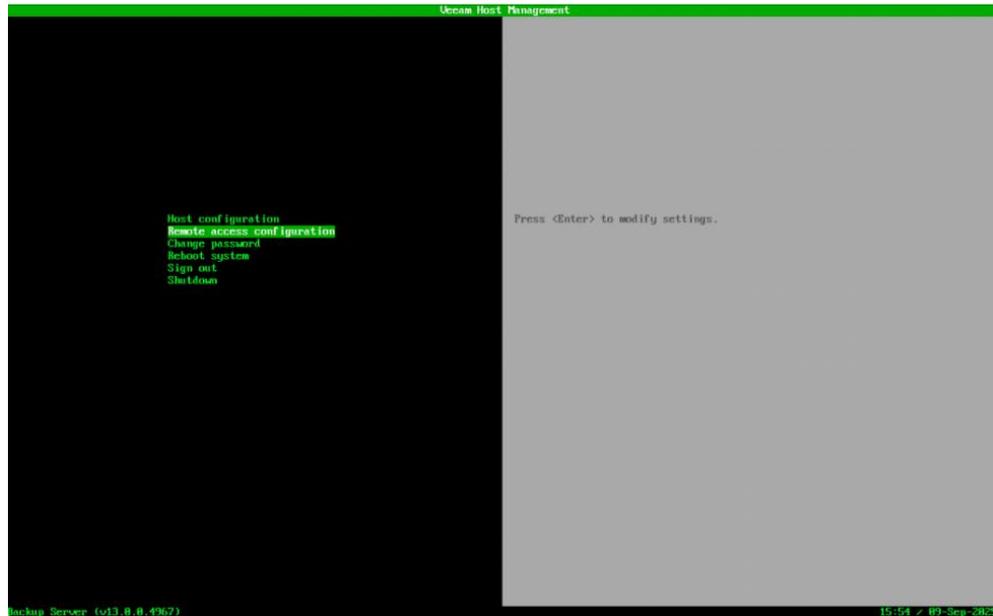
Veeam Software Appliance を構成する

1. [Veeam 公式ドキュメント](#)に従って、Veeam Software Appliance を完了します。
2. 手順 7. では、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスに使用されているものと同じ NTP サーバーを選択します。

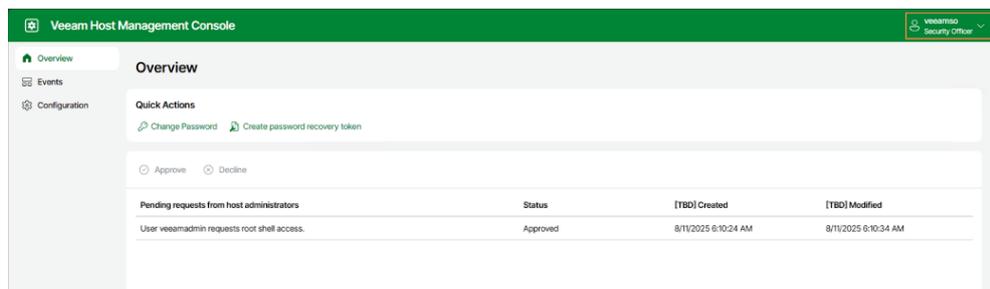


3. インストールが完了したら、ローカルの s3 エンドポイントを解決するために hosts ファイルを更新する必要があります。

1. Veeam ホスト管理コンソールから SSH アクセスをリクエストします。「**Remote access configuration**」を選択し、「**Enter shell**」をクリックします。



2. Veeam Host Management Console (ポート 10443) からのリクエストを、veeamso として承認してください。



3. /etc/hosts ファイルを編集し、1.1.1.1 s3.artesca-plus.local
crl.artesca-plus.local の解決を追加してください。

```
[root@vbr /] vi /etc/hosts
```

4. そこから、**veeamadmin** として Veeam 13 Web UI を使用してライセンスを展開し、Veeam 13 Backup & Replication Windows コンソールを使用してオブジェクトストレージリポジトリを作成できます。

注

Veeam 13 Backup & Replication Windows コンソールをダウンロードするには、Veeam 13 Web UI で [Configuration] > [About] に移動します。

[ARTESCA + Veeam インストール後のガイドライン](#)に進みます。

© 2026 Climb Inc.

2.3 ARTESCA + Veeam インストール後のガイドライン

以下のガイドラインは、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスにのみ適用されます。概略として、次の手順が推奨されます。

1. デフォルトのオペレーティングシステムのパスワードを変更する
2. ARTESCA UI にログインする
3. ライセンスをアクティブ化する
4. アラート通知を構成する
5. アイデンティティ管理を設定する
6. ARTESCA + Veeam をセットアップする

デフォルトのオペレーティングシステムのパスワードを変更する

注

インストール中に、デフォルトのオペレーティングシステムのパスワードをまだ変更していない場合は、次の手順に進みます。

ARTESCA OS は、2つのユーザーにそれぞれデフォルトかつ安全でないパスワードを提供します：

- デフォルトパスワード `scalcity` を持つ `artescos-os` という名称のユーザー
- デフォルトパスワード `scalcityadmin` を持つ `root` という名称のユーザー

警告

ARTESCA OS のセキュリティを確保するため、これらのユーザーで少なくとも一度ログインし、パスワードを更新する必要があります。

パスワードの変更方法の詳細については、[パスワードの変更](#)を参照してください。

ARTESCA をインストールすると、`root` ユーザーとして SSH 接続できなくなります。`root` ユーザーとしてログインするには、サーバーに直接接続してください（物理的に、または IPMI コンソールを使用）。`root` ユーザーの使用は、Scality サポートリクエスト時のみに限定してください。

ARTESCA UI にログインする

1. コンソールを使用して、管理 UI の URL を取得します。

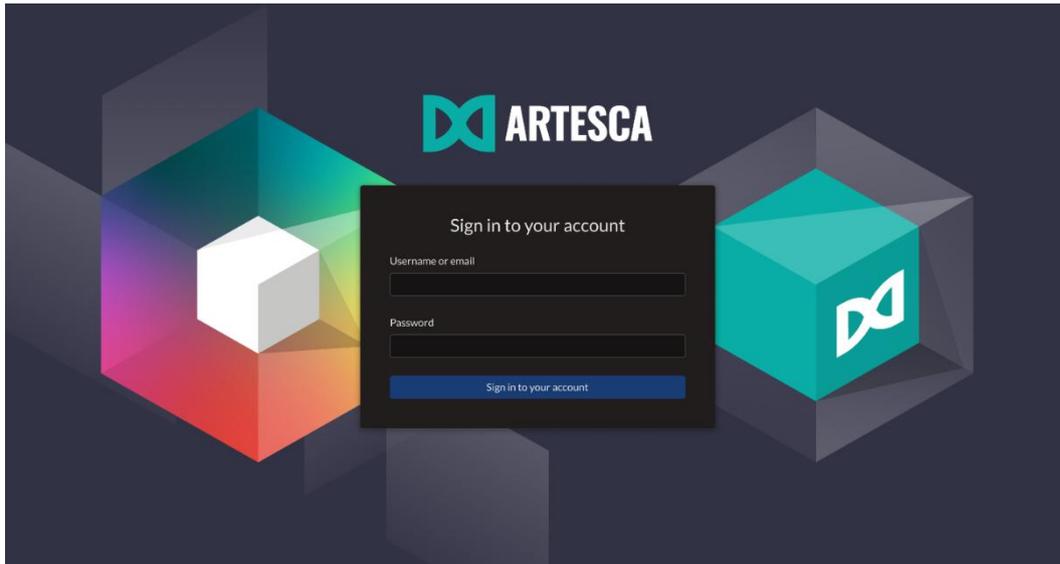
```
sudo salt-call metalk8s_network.get_control_plane_ingress_endpoint
```

```
local:
```

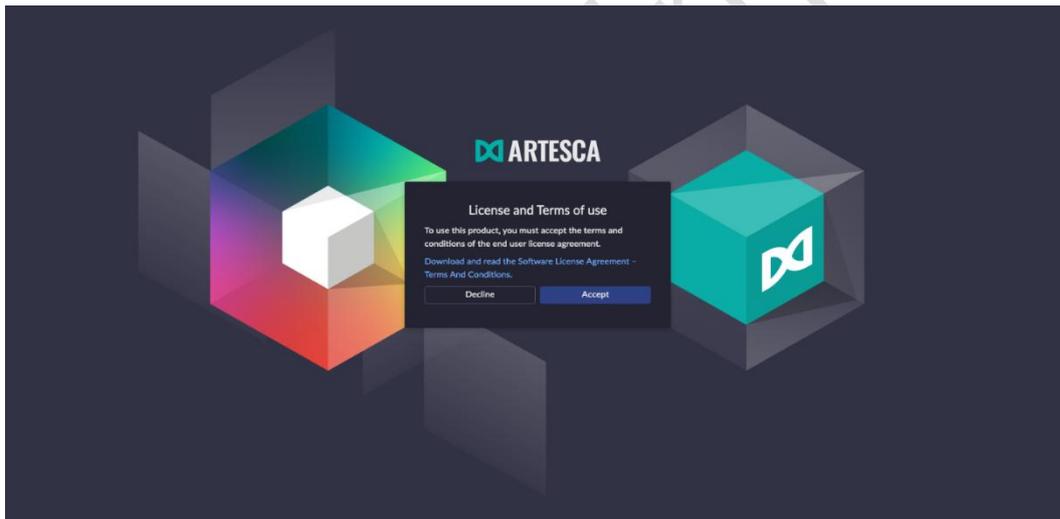
```
<management ui url>
```

2. コンソールから `<management ui url>` をコピーしてください。
3. ウェブブラウザを開き、アドレスバーに `<management ui url>` を貼り付けてください

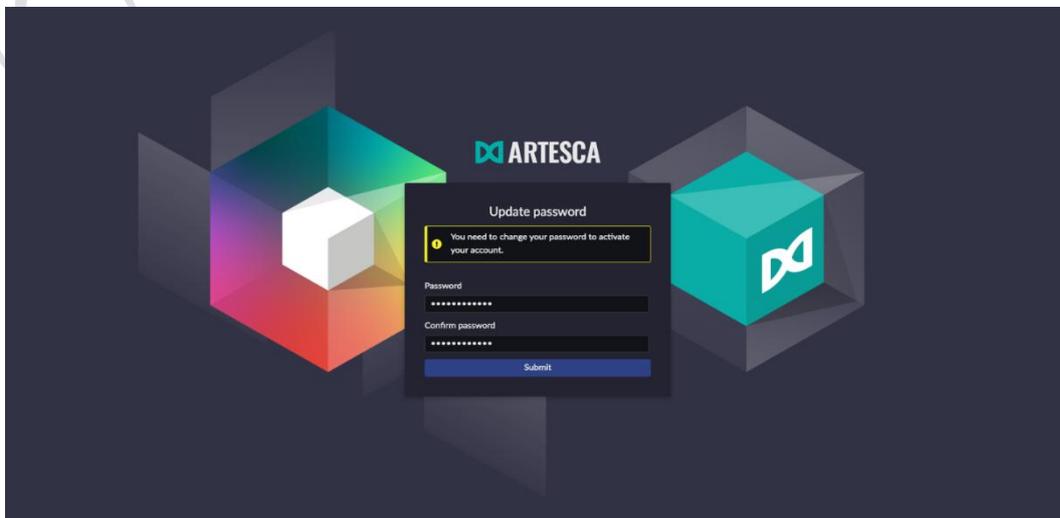
次のページにリダイレクトされます。



4. デフォルトの資格情報（**scality / password**）を入力してコンソールにログインします。
5. ライセンスと利用規約に同意します。



6. パスワードを更新し、**Submit** をクリックします。



管理 UI に正常にログインし、さまざまな手順に進むことができます。

ARTESCA ライセンスを有効化する

ARTESCA を最初にインストールした後、システムには有効なライセンスがありません。

[ライセンスの失効](#)に記載の手続きに従い、販売代理店または Scality セールスオペレーションチームに有効なライセンスを申請してください。ARTESCA UI では、右上のユーザー名をクリックし、**License** を選択することで、ライセンスプランの確認と管理が可能です。ライセンスを受け取ったら、提供されたライセンスキーを使用して製品インスタンスをアクティベートしてください。

アラート通知を設定する

デフォルトでは、ARTESCA によって生成されたアラートは、ARTESCA UI にのみ表示されます。つまり、アラートを確認するには UI にログインする必要があります。

ただし、ARTESCA を設定して、電子メールアドレスにアラートを送信することは可能です。電子メールによるアラート通知を構成する方法については、[アラート通知の構成](#)を参照してください。

アイデンティティ管理の設定

インストール時、最初の ARTESCA ユーザーが設定され、ARTESCA の使用を開始できるようになっています。

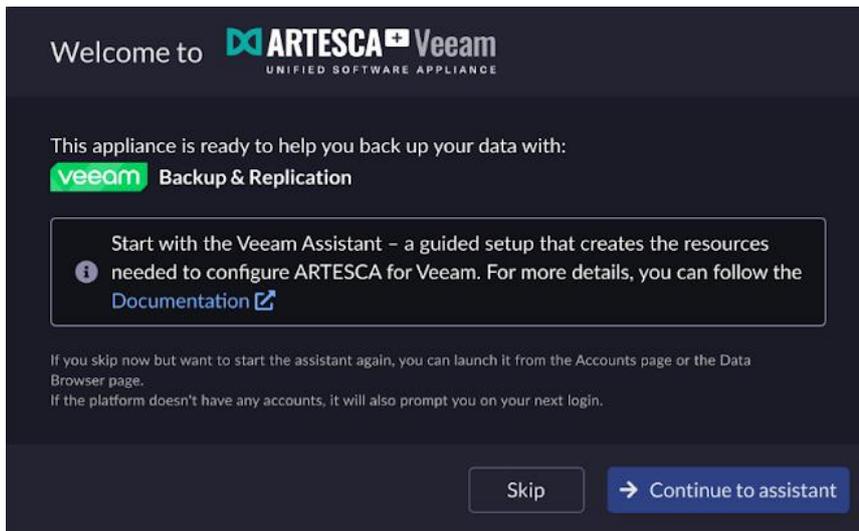
ARTESCA ユーザーは、ローカルで管理するか、ARTESCA で利用可能な ID プロバイダー一覧からフェデレーション ID プロバイダー経由で管理するかを選択できます。現在サポートされているのは LDAP のみです。

- ARTESCA のユーザーロールと作成方法の詳細については、[ユーザー管理](#)を参照してください。
- フェデレーション ID プロバイダー経由でユーザーを管理する場合は、[LDAP 統合](#)を参照してください。

セキュリティ強化のため、多要素認証を有効化することも選択できます。この場合は[多要素認証の設定](#)を参照してください。

ARTESCA + Veeam のセットアップ

ARTESCA+ Veeam UI に初めてログインすると、次のページが表示されます。



Veeam Backup & Replication が既に実行されている場合は、**Continue to assistant** をクリックして Veeam Backup & Replication スタートアップアシスタントを起動します。

詳細については、[Veeam Backup & Replication 用 ARTESCA の構成](#)を参照してください。

現時点で Veeam Backup & Replication を構成しない場合は、**Skip** をクリックします。スタートアップアシスタントは後で、**Accounts** ページまたは **Data Browser** ページから起動できます。

2.4 操作

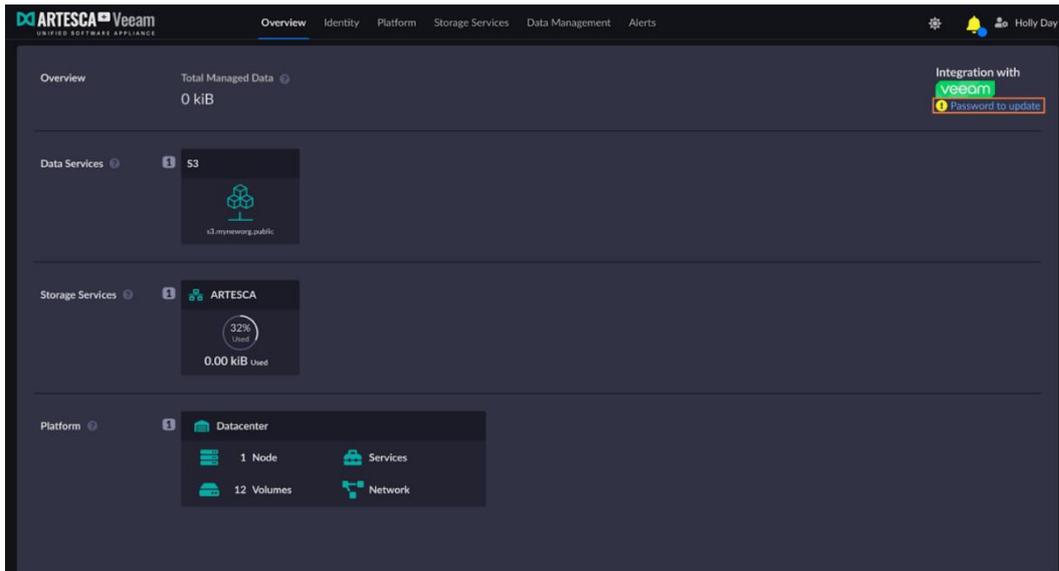
- [Veeam 情報を ARTESCA UI に統合する](#)
- [Veeam 概要メトリクス](#)
- [ARTESCA S3 エンドポイントを外部からアクセス可能にする](#)
- [VNC クライアントを使用して Veeam 仮想マシンに接続する](#)
- [Windows インストールの強化](#)
- [アップグレード](#)

© 2026 Climb Inc.

2.4.1 Veeam 情報を ARTESCA UI に統合する

この手順では、Veeam の認証情報を更新および検証することで、ARTESCA UI に Veeam Backup & Replication の情報を表示する方法について説明します。この情報は、Veeam REST API を使用して取得されます。

1. ARTESCA UI にログインします。
2. **Overview** ページで、右上隅にある **Integration with Veeam** パネルを見つけます。



3. **Password to update** をクリックします。**Update Veeam credentials** ダイアログボックスが表示されます。
4. それぞれのフィールドに有効な Veeam 資格情報を入力します。
 - **Username:** Veeam 管理者ロールを持つ Veeam ユーザー
 - **Password:** Veeam ユーザーのパスワード

Update Veeam credentials

Username

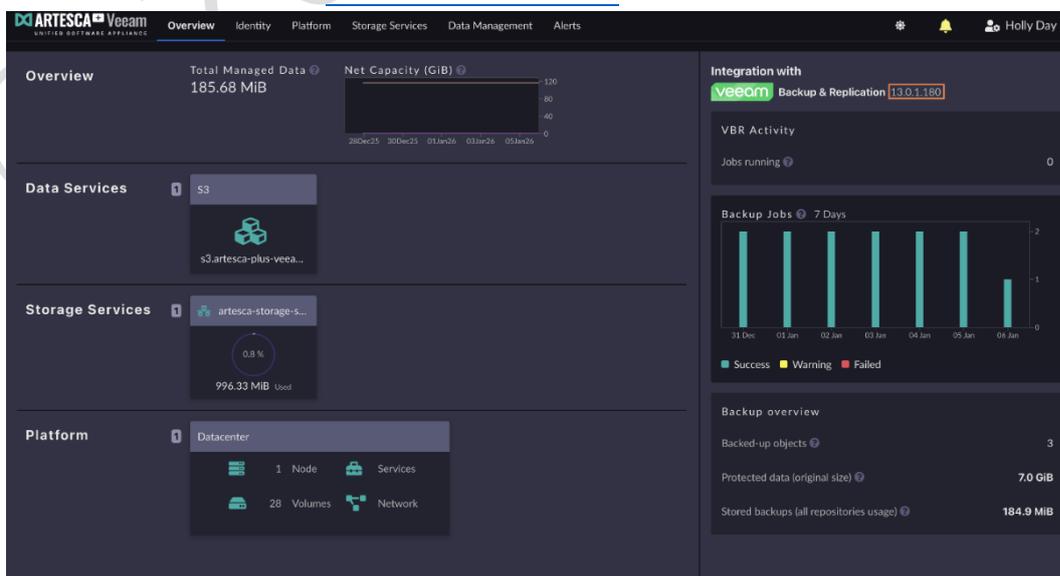
Password 

i Veeam Credentials

*These credentials are used internally by ARTESCA to query Veeam API.
By default, it's a Windows user. A Veeam user that has a Veeam Backup Administrator role is required.*

5. **Confirm** をクリックします。資格情報の検証には最大 1 分かかる場合があります。
6. 資格情報が有効な場合、**Overview** ページの **Integration with Veeam** パネルの横に Veeam Backup & Replication のバージョンが表示されます。

また、ARTESCA UI から [Veeam 概要メトリクス](#) にアクセスすることもできます。

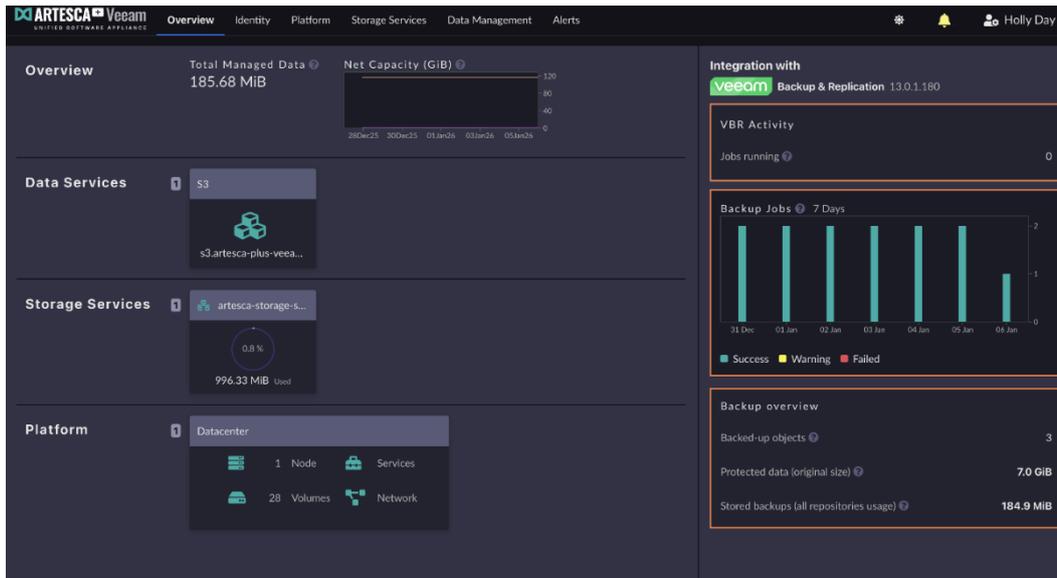


2.4.2 Veeam 概要メトリクス

Veeam 概要メトリクスは、Veeam Backup & Replication インターフェースにログインすることなく、Veeam バックアップインフラストラクチャとアクティビティを即座に可視化します。ARTESCA は、Veeam REST API を使用して VBR アプリケーションからこれらのメトリクスを取得します。

Veeam メトリクスにアクセスする

メトリクスは、ARTESCA + Veeam UI の **Overview** ページで確認できます。



監視コンポーネント

VBR アクティビティ

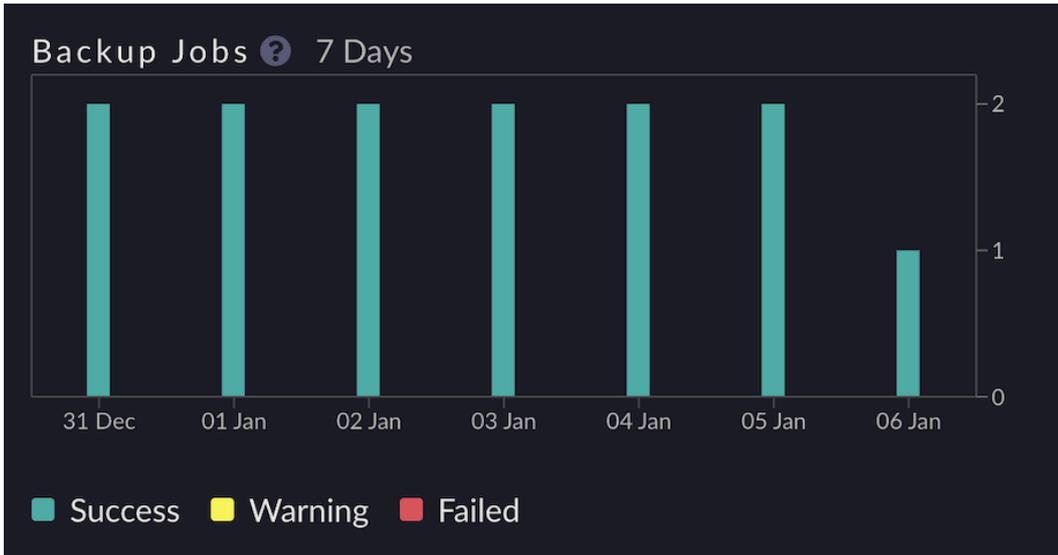
VBR Activity メトリクスには、VBR アプリケーションで現在実行されているバックアップジョブの数が表示されます。



バックアップジョブ

Backup Jobs チャートには、過去 7 日間にわたってジョブごとに毎日記録された最新のステータス（成功、警告、失敗）を表示します。

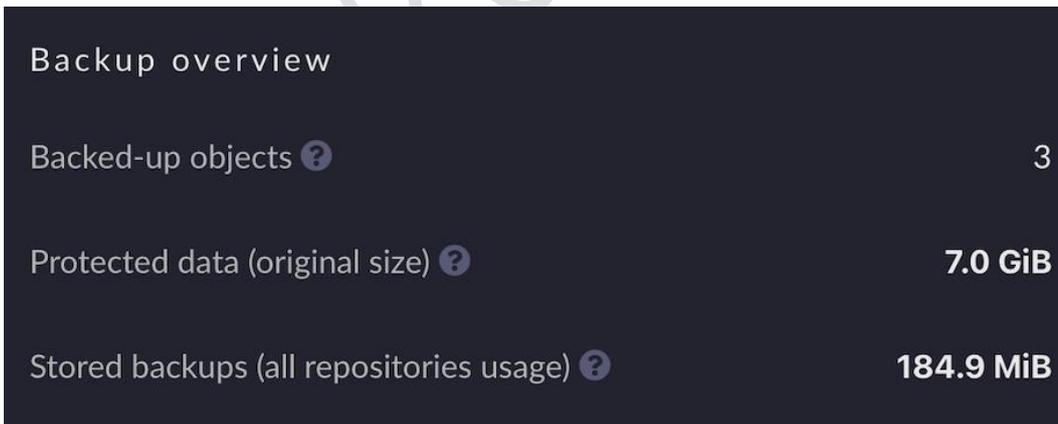
バックアップジョブは、定義されたスケジュールに従ってデータをコピーし、バックアップ先に保存する自動化されたタスクです。これらのジョブは Veeam によって管理され、ARTESCA のオブジェクトストレージにデータを保存します。



メトリクス	説明
Success	バックアップジョブはエラーなしで完了しました。
Warning	バックアップジョブは完了しましたが、重大ではない問題が発生しました。
Failed	バックアップジョブは正常に完了しませんでした。

バックアップの概要

Backup overview メトリクスは、VBR アプリケーションによって管理されるバックアップインフラストラクチャの全体的な状態に関する情報を提供します。



メトリクス	説明
Backed-up objects	VBR アプリケーションから取得した、バックアップに含まれる仮想インフラストラクチャオブジェクトの合計数。 このカウントは重複排除されません。あるオブジ

	<p>エクトが、複数の個別のバックアップジョブによって保護されている場合、このオブジェクトが複数回出現することがあります。</p>
Protected data (original size)	<p>すべてのプラットフォームにわたるすべての保護されたワークロードからの元データの合計量。</p> <p>このメトリックは、データ削減技術（重複排除または圧縮）が適用される前に測定されます。</p>
Stored backups (all repositories usage)	<p>VBR アプリケーション内で構成されたすべてのリポジトリにわたるすべてのバックアップファイルによって消費される合計ストレージ容量。</p> <p>この値は、データ削減技術（重複排除と圧縮）が適用された後のバックアップファイルの実際のサイズを表します。</p>

© 2026 Climb

2.4.3 ARTESCA S3 エンドポイントを外部からアクセス可能にする

プライマリリポジトリアーキテクチャでは、デフォルトでは ARTESCA S3 エンドポイントは ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスの外部からアクセスできません。これにより、S3 エンドポイントはローカルの Veeam Backup & Replication プロキシによってのみ使用され、外部ネットワークには公開されません。

Veeam プロキシを外部に展開する場合、または、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスをセカンダリバックアップターゲットおよび、Veeam DR サイトとして使用する場合、S3 エンドポイントを物理インターフェースでリッスンし、特定のドメイン経由でアクセスできるように設定できます。これにより、適切な接続とデータ転送が確保されます。

次のコマンドを実行して、ARTESCA S3 エンドポイントをアプライアンスの外部からアクセスできるようにします。

```
sudo ./artescas-installer configure-frontend data domain
```

データプレーンを公開するサブネットと、S3 エンドポイント URL を構築するためのドメイン名を指定するよう求められます。

コマンドを実行すると、新しいエンドポイントが UI で利用可能になります。Veeam プロキシまたはプライマリ Veeam クライアントが、アプライアンスの IP アドレスに解決できるように、このエンドポイントの DNS レコードを作成する必要があります。

2.4.4 VNC クライアントを使用して Veeam 仮想マシンに接続する

仮想ネットワークコンピューティング (VNC) クライアントを使用して、Veeam VM に接続できます。

- Veeam Backup & Replication バージョン 12 の場合、これはリモートデスクトップクライアントの代替手段を提供します。
- Veeam Software Appliance バージョン 13 の場合、これにより Veeam Software Appliance ターミナル UI へのアクセスが提供されます。

VNC クライアントを使用して Veeam VM に接続するには、次の手順に従います。

1. ARTESCA ホストから VNC サーバーを起動します。

```
sudo virtctl --kubeconfig /etc/kubernetes/admin.conf vnc vbr --proxy-only -n veeam --address 0.0.0.0 --port 48459
```

2. VNC クライアントを使用して、ARTESCA ホスト IP を使用する仮想マシンに接続します。お好みの VNC クライアントを選択してください。例えば、[RealVNC Viewer](#) クライアントを使用できます。

2.4.5 Windows インストールの強化

注

この手順は、ARTESCA + Veeam 統合ソフトウェアアプライアンスを Veeam Backup & Replication バージョン 12 とともに展開する場合にのみ適用されます。

Veeam Backup & Replication 環境が安全で、潜在的な脅威に対して耐性があることを保証するには、[Veeam のセキュリティおよびコンプライアンススクリプト](#)に従ってシステムを強化できます。

重要

このスクリプトはリモートデスクトッププロトコルを無効にするため、Windows 仮想マシンに接続するには [VNC クライアント](#)を使用する必要があります。

© 2026 Climb Inc.

2.4.6 アップグレード

ベンダーの公式ドキュメントに従って、いつでも Veeam Backup & Replication バージョン 12 または、Veeam Software Appliance バージョン 13 にアップグレードできます。

ARTESCA をアップグレードするには、[このドキュメント](#)を参照してください。

重要

ARTESCA のアップグレードプロセス中に、仮想マシンを再起動できません。

© 2026 Climb Inc.

3 更新履歴

版	修正日	修正者	内容
1.0	2026/02/27(金)	F.Y	初版

© 2026 Climb Inc.